

『胸部・腹部 CT で脊椎に骨折が見つかり リハビリテーション科医師から骨粗鬆症対策を勧められた患者さんへ』

[研究名]

胸・腹部 CT 画像で脊椎圧迫骨折が見つかり骨粗鬆症対策を勧めた患者の治療状況とその成果についての調査

[研究責任者]

香川県立中央病院 リハビリテーション科 診療科長 本田 透

[研究の目的]

骨粗鬆症は多くの中高齢患者さんの併存疾患です。日本骨粗鬆症学会のガイドラインによれば、脊椎に脆弱性骨折が見つかる患者さんは骨粗鬆症の治療対象者です。ご入院の原因となった疾患や合併症も骨粗鬆症の増悪因子になり、逆に骨粗鬆症が生活習慣病の悪化につながります。

近年、大腿骨近位部骨折患者さんの再骨折予防の重要性が認知されるようになりましたが、一方、椎体骨折を有する患者さんに対する骨粗鬆症の治療率を向上させることが課題とされています。

本研究では、胸部・腹部の CT 検査で椎体骨折が見つかる患者さんについて、主治医に相談して骨粗鬆症の治療をお勧めし、対象となった患者さんの骨粗鬆症治療の継続率や骨密度の変化、新規骨折の発生率、活動レベルや生命予後などを調査し、本法の有用性を検討します。

[研究期間]

令和6年4月22日臨床研究専門委員会承認後 ～ 令和6年6月15日

[研究の対象・方法]

平成29年9月～令和6年1月までに、本研究の分担者が、胸腹部 CT で椎体骨折を見つけて骨粗鬆症の検査と治療を勧めた患者さんの診療情報をもとに、骨粗鬆症治療の受け入れ状況、治療の継続状況、骨密度の変化、新規骨折の発生状況、活動レベルや生命予後などのデータについて、過去にさかのぼって検討します。

[個人情報 病歴、既往歴の保護]

診療情報を利用する際には、個人情報との照らし合わせが必要になることがあります。ただし、個人情報は^{とくめい}匿名化（誰のものであるか特定できないようにする）して取り扱いますので、個人情報が外部に漏れることはありません。

[患者さんから得た情報の保存・保管について]

患者さんから得た情報は本研究以外には一切用いません。研究終了後令和9年3月31日まで厳重に保存し、保存期間が過ぎたら、匿名化した状態で適切に破棄します。

[この臨床研究の成果を公表する際における、患者さんの個人情報の取扱いについて]

この臨床研究の成果を、学会などでの発表や医学誌への投稿などを通じて公表することがあります。そのような場合においても、この臨床研究に参加いただいた患者さんの個人が特定される情報は含まれておりませんので、個人が特定されることは一切ありません。

[費用の負担]

通常の保険診療の範囲内で実施いたします。本研究に関する患者さんの費用負担は一切ありません。

[健康被害が発生した場合の補償について]

過去の診療情報を用いた研究ですので、患者さんご自身に健康被害は生じません。

[利益相反]

利害の衝突によって研究の透明性や信頼性が損なわれるような状況は生じません。

[自由意思による参加、拒否および撤回]

本研究への情報提供は患者さんの自由意思によりますが、原則として、不同意の意思表示がない場合には同意があったものとみなし、情報等を研究に使用させていただきます。不同意や同意撤回の場合には、いつでも研究責任者に申し出てください。情報は速やかに破棄いたします。ただし、同意を撤回したときすでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、完全に匿名化され個人が特定できない場合などには、破棄できないこともあります。

なお、本研究に不同意の場合であっても、当院での治療に一切不利益を受けることはありません。

[本研究に関する問い合わせ先]

本研究に関し、研究の方法に関する資料の閲覧、疑問、苦情などある際には、下記までご連絡ください。

〒760-8557 高松市朝日町1-2-1

香川県立中央病院 リハビリテーション科 診療科長 本田 透

電話 087-811-3333 (代表)